

第1学年 特別活動学習指導案

日時 平成19年6月8日（金）

指導学年 第1学年1・2組（58名）

指導場所 視聴覚室

指導者 担任

学校栄養職員

1 題材名 「しっかり食べよう朝ごはん」

2 題材の目標

朝ごはんの大切さを理解し、しっかり食べることへの意欲をもつようとする。

3 食育の視点

心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を育てる。

4 題材設定の理由

1年生の子供たちが入学して2ヶ月が経ち、学校生活にも慣れてきたようである。毎日の給食では、個人差はあるが意欲をもって食べている姿がある。

その一方、朝から元気のない子供や給食を食べはじめるとトイレに行く子供がおり、朝ごはんや生活リズムに問題があるようにも見受けられる。

そこで、1年生の早いうちに、保護者もまじえて朝食の大切さについて学習する機会を設け、朝食をしっかり食べてから登校する習慣や、規則正しい生活リズムの確立を促していくたいと考えている。

5 学習展開の構想

1年生1学期ということもあり、導入ではパペット人形を活用し、そのキャラクターに興味関心を持たせながら、自分の今朝の朝食を思い出すところから始めたいと考えている。そして、「あさごはんでもりもりげんき」（教育画劇）という紙芝居を見て、自分の普段の生活を振り返らせ、朝食を食べると、どんなよいことがあるのかを理解させていきたい。そして、朝食をしっかり食べることへの意欲がもてるよう支援していきたいと考えている。

また、当日は保護者との給食試食会もある。保護者も参観したかたちで授業を進めていくことで、家庭への啓発を含めて朝食の大切さをより効果的に伝えていきたい。

6 本時の展開

	児童の学習活動	指導上の留意点	資料	評価
導入 10分	パペット人形（パクリとガブリ）の話を聞く。 自分の今朝の朝ごはんを思い出す。 今日の学習について知る。	子供の気持ちを集中させ、楽しく聞ける雰囲気をつくる。（ 担任・栄養職員） 話を聞いて、自分のことを見出せるような言葉かけをする。（栄養職員） 学習内容を伝える。	パペット人形 パクリ ガブリ	話を聞き、自分の今朝の朝ごはんを思い出すことができるか。
展開 25分	紙芝居「あさごはんでもりもりげんき」を見る。 朝ごはんを食べなかつた主人公のカバさんはどうだったかを思い出し話す。 朝ごはんを食べると、どんないいことがあるかを知る。	子供が集中して聞けるように、ゆっくり話す。 （担任） 紙芝居を思い出し、自分の経験を振り返らせる。 （栄養職員） 朝ごはんの大切さを、わかりやすく説明し、食べることへの意欲がもてるようにする。 （栄養職員）	紙芝居 「あさごはんでもりもりげんき」 紙芝居をしっかり聞き、振り返ることができるか。 絵カード 朝ごはんの大切さを理解することができたか。	
まとめ 10分	朝ごはんを食べると、どんないいことがあるのかを、パペット人形のガブリに教える。	朝ごはんの大切さを、確認させながら、子供の言葉で言えるように支援する。 （担任・栄養職員）		朝ごはんの大切さを、伝えることができたか。

使用紙芝居 「あさごはんでもりもりげんき」 教育画劇

7 評価

朝ごはんの大切さを理解し、しっかり食べることへの意欲をもつことができたか。